

電子情報システム工学専攻			ソフトウェアアーキテクチャ				
学年	専攻科1年	担当教員名	野口 孝文				
単位数・期間		2単位	後期	週当りの開講回数	1回	専門展開・選択	学修単位1
授業の目標と概要		オブジェクト指向は、大規模システム開発に欠かせない技術である。本講義では、オブジェクト指向言語smalltalkを通して、オブジェクト指向の概念、MVCアーキテクチャ、クラス、継承等について学ぶ。さらに、コンポーネントウェアについてその概念を学ぶ。					
		釧路高専目標	C:100%		JABEE目標	d-1-2	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		本科で学んだプログラミングやコンピュータに関する知識を基礎とする。					
到達目標		オブジェクト指向の考え方を理解して、簡単なプログラムを作成することができる。					
成績評価方法		定期試験 100% 授業態度 ±10% 合否判定: 定期試験の結果が60点以上 最終評価: 定期試験の結果(100%)と授業態度(±10%)との合計					
テキスト・参考書		必要に応じて資料を配布する 教科書: Squeakプログラミング入門 ジーン・コリエネック他,菅原一孔他訳 星雲社 参考書: Squeak入門 Mark Guzdial, Kim Rose 編 軋音組訳 SiBaccess Meme Media and Meme Market Architechture Y.Tanaka Wiley Interscience					
メッセージ		オブジェクト指向の元祖であるSmalltalkを通して、オブジェクト指向の考え方を学んでほしい。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
前期中間試験							
前期期末試験							
授業のガイダンス・プログラミング言語(1回) オブジェクト指向の概念(2回) SmalltalkとSqueak Squeakの基本操作(1回) Squeakの文法(2回) クラスとインスタンスとメソッド 継承・多様性(1回)			プログラミング言語と機械語およびコンピュータのとの関係を説明できる。 オブジェクト指向の考え方を理解できる。 Squeakの簡単なプログラムを定義し、実行することができる。 Squeakにおけるクラスやメソッドをツールを使って参照することができる。				
後期中間試験							
MVCモデル メッセージモデル(2回) コンポーネントウェア コンポーネントウェアにおけるオブジェクト管理(3回) コンポーネントウェアの応用(3回)			オブジェクト間におけるメッセージの流れを説明できる コンポーネントを利用したプログラムを作成できる。				
後期期末試験							